**好きな物や嫌いな物を当てる**



手品やパズルの中には文字を使って説明できるものも多い。

ここでは，数当て手品について考えよう。まず，2人ずつのペアに分かれ，ひとりが当てる人，もうひとりが当てられる人になる。当てる人は当てられる人に向かって，次のように言う。

|  |
| --- |
| 紙に，次のことを書いてください。    (1)～(12)のうち，１つの数**χ**を選んでください。  最後に，残りの数字を足してください。  さて，答え**ｙ**はいくつになりましたか？ |

最後に得られた2桁の数をｙとする。当てる人は，当てられる相手からの総和の数字ｙを確認し，1から12までの数の和から求めた数を引くと，好きな物や嫌いな物を表す番号**ｚ**が解かる。



|  |
| --- |
| 文字を利用して，資格や職業を表す番号がわかる理由を考えてみよう。まず，(1) ～(9)のうち，１つを選び，残りの選択肢の数字を足す。  　　　　　　　　　（例：**(7)　技術書**　）  1から12までの数の和から選んだ数を引くと，  1から12までの数の和から求めた数を引くと，  **78－71＝7**  したがって，1から12までの数の和より「**7**」足りないため，相手が選んだ数は「**7**」である。 |

|  |
| --- |
| **ポイント：【等差数列】**  **数学における等差数列とは、「隣接する項が共通の差（公差）を持つ数列」を言う。** |



【計算シート】

|  |  |
| --- | --- |
| 2 | まず，(1) ～(12)のうち，１つを選び，残りの選択肢の数字を足す。（例：**(8)青年誌**　）  **ｙ＝α1＋α2＋α3＋…＋α12－χ＝70**  つまり，1から12までの数の和**ｙ＝78**から求めた数を引くと，  **78－70＝8** 　　　　　　　**∴ｚ＝8**  **選択した数字：　8** |